

# 愛知県がんセンター 概 要

平成31(2019)年度



# 基本理念

私たちは患者さんの立場にたって、最先端の研究成果と根拠に基づいた最良のがん医療を提供します。

The mission of Aichi Cancer Center is to provide patients suffering from cancer with compassionate care and the best treatment based on evidence and leading-edge cancer research.

## 基本方針

1. 患者さんの権利と尊厳を守る医療を実践します。
2. 根拠に基づいた良質で安全な医療を提供します。
3. 情報を開示し、医療の透明性と信頼性を保ちます。
4. がんの予防・診断・治療の技術革新を目指した研究を推進します。
5. 教育と研修を充実し、がん医療・研究を担う人材を育成します。
6. 愛知県がん診療連携拠点病院として地域と連携し、がん医療の向上に努めます。
7. がん医療の実践、研究開発、啓発を通じて、愛知県のみならず日本さらには国際社会へ貢献します。

## 患者さんの権利と病院からのお願い

愛知県がんセンターは、がん専門施設として、最先端で最良のがん医療をみなさんに提供することを使命としています。

ここに、「患者さんの権利と病院からのお願い」を明らかにし、患者さんと病院職員とがお互いに信頼感を持ち、協力してがんに立ち向かうことを宣言します。

### 患者さんの権利

1. 誰でも良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
2. いかなる状況でも、人格が尊重され、尊厳が保障される権利があります。
3. 十分な説明による理解のもとに、自らが受ける治療に対して意思決定をする権利があります。
4. 自らが受けている医療について、すべてを知る権利があります。
5. すべての個人情報が保護される権利があります。
6. 診断や治療方針について、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

### 病院からのお願い

1. 快適な療養環境を維持するため、病院の規則をお守りください。
2. ご自分の病状や健康状態を医療従事者に正確にお伝えください。
3. 他の患者さんに迷惑となるような行為や診療の妨げとなるような行為は行わないでください。
4. 診療費は滞ることなくお支払いください。
5. 病院職員と連携して、医療事故の防止にご協力ください。
6. 将来のがん医療を担う医療従事者の教育・研修にご協力ください。
7. がん医療の発展のため、臨床研究にご協力ください。

# 目 次

目 的 .....	2
沿 革 .....	2
設置の根拠 .....	3
施設の概要 .....	3
所在地 土地・建物 病院 研究所	
組織と職員定数 .....	8
組織 役職者一覧表 職種別・職員定数一覧表	
管理業務 .....	10
会計予算 がん患者状況 レジデント履修状況等	
主な備品・設備 .....	18
備品 附属設備	
病院業務 .....	19
診療科目 外来診療の流れ 患者状況 治療・検査件数等	
研究業務 .....	27
重点プロジェクト研究課題等	
類似病院との比較 .....	30
外来診療案内・入院案内 .....	31
交通案内 .....	32

# 目 的

がんの根本的な制圧のためには、その実態を究明して積極的な予防策を講ずるとともに、早期に適切な診断と治療を行わなければならない。これらのがん対策を推進するためには、がんの基礎的研究部門からはじまる幅広い研究活動と、がんに対する高度な診断・治療の実施のほか、専門技術者の養成や診断技術の普及も必要なことである。

このため国は、昭和37年、東京に国立がんセンターを設置したが、これと呼応して愛知県においても、この種の専門施設の少ない東海地方に病院と研究所を併有した愛知県がんセンターを設置し、がん制圧の重要な拠点とすることにした。

# 沿 革

昭和36年 1 月12日	愛知県がん対策協議会に対し、知事から「悪性新生物の予防及び治療対策」について諮問
昭和36年 6 月19日	同協議会から知事に対し「がん対策の拠点となる、がんセンターを早急に設置する必要がある」旨答申があり、がんセンターの設置を決定
昭和39年10月15日	建物竣工
昭和39年12月 1 日	業務開始【病床数333床（特別病床32、一般病床269、術後回復病床24、ラジウム病床8）】
昭和44年 3 月31日	病床22床増床（特別病床）
昭和49年 8 月31日	検査診断棟増築工事竣工
昭和57年 3 月30日	遺伝子組換え実験室完成
昭和58年11月22日	診療管理棟竣工
昭和63年 8 月31日	生物工学総合実験棟竣工
平成 3 年12月20日	特殊放射線・診療棟竣工
平成 4 年 2 月29日	病棟竣工
平成 4 年 5 月18日	新病院棟業務開始【病床数500床（特別病床80、一般病床393、特殊病床27）】
平成 6 年 3 月18日	国際医学交流センター・外来棟竣工
平成 6 年 5 月24日	国際医学交流センター・外来棟業務開始
平成 7 年 6 月30日	立体駐車場竣工
平成 7 年12月25日	植栽工事（環境整備）完成
平成 9 年 3 月20日	研究所代替施設改修工事竣工
平成12年 3 月10日	特定承認保険医療機関 承認
平成14年 1 月11日	新研究所棟竣工
平成14年 2 月 7 日	（名称変更）新研究所棟→研究所棟本館、診療管理棟→研究所棟北館
平成14年 4 月 1 日	臨床研修病院の指定
平成14年 8 月13日	地域がん診療拠点病院の指定
平成16年 4 月 1 日	地方公営企業法の全部適用
平成16年 9 月27日	病院機能評価の認定（Ver4.0）
平成17年 4 月 1 日	愛知病院（岡崎市、病床数306床）を統合
平成18年 9 月21日	医療法人名古屋放射線診断財団とPET-CT検査診療所整備運営等に関する基本協定書締結
平成19年 1 月31日	都道府県がん診療連携拠点病院の指定
平成21年 9 月27日	病院機能評価の認定（Ver6.0）
平成22年 4 月 1 日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新
平成22年10月 1 日	尾張診療所（一宮市）開設
平成25年 7 月 1 日	外来化学療法センター開設
平成26年 3 月31日	尾張診療所（一宮市）閉所
平成26年 4 月 1 日	地域医療連携・相談支援センター/緩和ケアセンター開設
平成26年 9 月27日	病院機能評価の認定（機能種別版評価項目3rdG:ver1.0）
平成27年 4 月 1 日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新
平成28年10月 1 日	サルコマーセンター開設
平成29年 4 月 1 日	個別化医療センター開設
平成30年 4 月 1 日	リスク評価センター開設
平成31年 3 月28日	がんゲノム医療センター開設
平成31年 4 月 1 日	愛知病院が岡崎市へ移管
平成31年 4 月 1 日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新

# 設置の根拠

設立当初・愛知県がんセンター条例（昭和39年条例第60号）運用部、病院、研究所の3部門を設置  
 現在・愛知県病院事業の設置等に関する条例（昭和41年条例第36号）

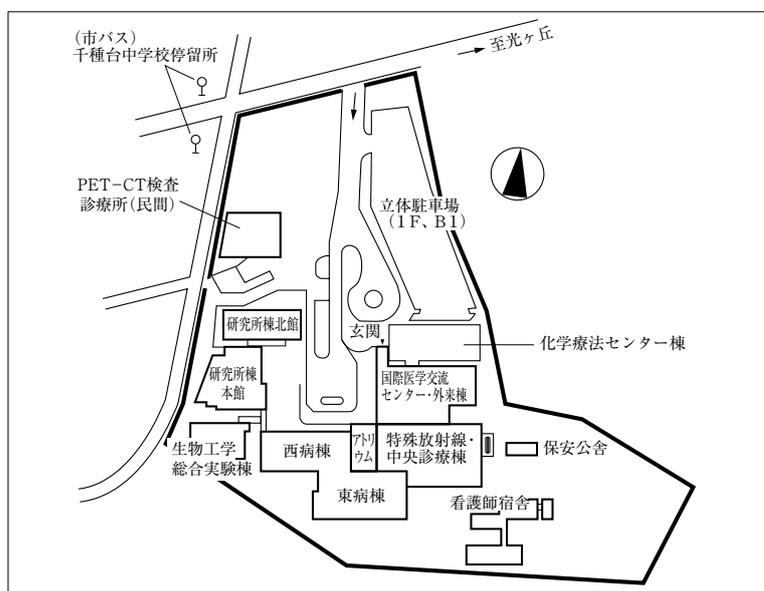
業務の内容

- ア 悪性新生物に関する予防、診断及び治療を行うこと
- イ 悪性新生物に関する予防、診断及び治療についての臨床研究、調査及び研究開発を行うこと
- ウ 悪性新生物に関する技術者及び研究者の研修を行うこと
- エ 悪性新生物に関する調査及び研究開発を行う者に施設を利用させること

# 施設の概要

所在地 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

(平成31年4月1日現在)



# 土地・建物

(平成31年4月1日現在)

区	分	構造・規模	延床面積
土	地		49,788.56 m <sup>2</sup>
建 物	合 計		72,941.06 m <sup>2</sup>
	病 棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上9階 搭屋2階	28,662.79 m <sup>2</sup>
	特殊放射線・中央診療棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上5階	12,274.96 m <sup>2</sup>
	国際医学交流センター・外来棟	鉄骨造一部鉄筋鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階	7,203.43 m <sup>2</sup>
	化学療法センター棟	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階	1,992.92 m <sup>2</sup>
	研 究 所 棟 本 館	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階	7,112.72 m <sup>2</sup>
	研 究 所 棟 北 館	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	3,244.43 m <sup>2</sup>
	生物工学総合実験棟	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	2,116.03 m <sup>2</sup>
	看 護 師 宿 舎	鉄筋コンクリート造 地上4階 搭屋1階 2棟	3,352.33 m <sup>2</sup>
	保 安 公 舎	鉄筋コンクリート造 地上3階	313.92 m <sup>2</sup>
	立 体 駐 車 場	鉄筋コンクリート造2層建	6,312.07 m <sup>2</sup>
	そ の 他	危険物倉庫・ごみ集積場・保管庫等	355.46 m <sup>2</sup>

# 病院

(平成31年4月1日現在)

## (東) 病棟 (西)

内 容		病床数	階別	内 容		病床数	
機械室			搭屋	機械室			
特別病棟 (混合)		25床	9階	特別病棟 (混合)		25床	
特別病棟 (混合)		30床	8階	一般病棟 (薬物療法科、放射線治療科、頭頸部外科、治験、緩和ケア(緊急))		50床	
一般病棟 (消化器内科・消化器外科)		50床	7階	一般病棟 (消化器外科・消化器内科)		50床	
一般病棟 (呼吸器内科、整形外科)		50床	6階	一般病棟 (血液・細胞療法科、泌尿器科、放射線診断・IVR科、呼吸器内科、消化器内科、整形外科)		49床	
空調機械室	小線源病棟 (放射線治療科) (4床) 一般病棟 (頭頸部外科、脳神経外科) (46床)	50床	5階	一般病棟 (女性専用) (婦人科、乳腺科、形成外科、頭頸部外科、呼吸器内科、消化器内科)		50床	
手術部門、輸血部門		ICU病棟	21床	4階	一般病棟 (呼吸器外科、呼吸器内科、薬物療法科、整形外科)		50床
臨床検査部門		アイソトープ検査部門 管理部門 (看護部)、リスク評価センター		3階	管理部門 (総長室、病院長室等)		
放射線診断・IVR部門		内視鏡部門 生理検査部門		2階	管理部門 (医局等)		
中央滅菌材料室、供給部門		憩いのフロアー、アトリウム (食堂、売店等)		1階	入院受付 管理部門 (運用部等)		
放射線治療部門、電気室		栄養管理部門		地階	中央監視室、熱源機械室		

(病床合計500床)

## 国際医学交流センター・外来棟

階 別	内 容
3 階	外科系診察室、臨床検査部門 (一部)、外来手術室・処置室等
2 階	総合案内、外来受付、予約受付、内科系診察室、地域医療連携・相談支援センター/緩和ケアセンター、薬剤部門 (薬局受付等)、会計等
1 階	国際医学交流センター (メインホール、大会議室、視聴覚室等)
地 階	薬剤部門 (供給室等)、カルテ、フィルム庫

## 化学療法センター棟

階 別	内 容
2 階	外来化学療法センター
1 階	臨床試験部門
地 階	薬剤部門 (ミキシング室等)

## 外来化学療法センター

平成 25 年 7 月 1 日に開設した化学療法センター棟は、中庭の配置による自然光が入る明るいフロアー、木の温もりあふれる空間において、ベッド 38 床（うち個室 3 床）、チェア 22 台の計 60 床を有し、全国でも最大規模の病床数を誇っている。外来での化学療法の提供のみならず、多くの治験、臨床試験も外来治療として施行し、看護師や薬剤師による副作用対応のための電話相談等にも対応し、きめ細やかな医療を提供することにより、平成 30 年度利用患者総数は 27,275 件で、1 日あたりの利用者数は 114 人であった。名実ともに日本のがん治療を担う leading hospital の顔として機能している。



## リスク評価センター

リスク評価センターは、院内ならびに東海地域における遺伝性腫瘍診療の拠点として、平成 30 年 4 月に開設された遺伝医療専門の部門である。遺伝性腫瘍患者やその血縁者のがん治療や予防などの健康管理を目的に、専任の臨床遺伝専門医と認定遺伝カウンセラーが、遺伝カウンセリングを通じ、がんの遺伝的リスクの評価、必要に応じた遺伝学的検査の機会の提供、多診療科・医療機関にわたる医学的管理の選択肢提供や心理社会的支援などを行なっている。多遺伝子パネル検査導入やがんゲノム医療支援など、最先端医療へも対応している。



## 臨床試験部（治験支援室・臨床試験室・試験支援室）

臨床試験部は臨床研究を支援する部門であり、治験支援室は薬剤や医療機器の承認申請を目的とした治験を支援し、臨床試験室および試験支援室は、治験以外の臨床研究を支援している。当院では、数多くの抗がん剤の治験を受託しており（約 150 件/年）、最近では多くの国際共同治験への参加、医師主導治験も実施している。また、平成 30 年 4 月の臨床研究法の施行に伴い、当院は、臨床研究審査委員会の認定を取得している。臨床研究の法整備に対応して、臨床試験部は、当院におけるより円滑な臨床研究の実施を目指し、支援体制を整備している。

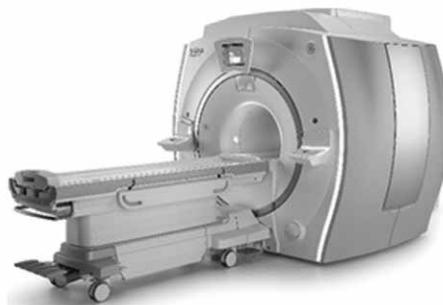
## 先進医療

先進医療とは、その有効性及び安全性を確保する観点から、医療技術ごとに一定の施設基準を設定し、施設基準に該当する保険医療機関は届出により保険診療との併用ができることとした制度である。

愛知県がんセンターでは、平成 31 年 4 月 1 日現在、「術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸がん（ステージがⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。）」を始め 6 種類の医療技術について提供している。

## MRI (Magnetic Resonance Imaging)

平成 31 年 3 月に MRI 装置が 1 台増設された。MRI 装置は磁石と電波により体内から情報を取り出し画像化する診断装置であり、放射線被曝が無く、任意の断面が撮影可能であるとともにコントラスト分解能が高いため、病態変化の検出に優れ、がんの早期診断や治療効果判定等に有用である。新しい MRI 装置も既存装置と同様に 3 テスラの強い静磁場強度であるとともに、エアコイルと呼ばれる新しいコイルが装着されている。このような新しい技術の導入により、画質の向上や撮像時間の短縮が可能となり、より精彩な画像を取得することができる。



## リニアック（放射線 外部照射装置）

当院には 3 台の外部照射装置があり用途に応じて適応を考慮して運用している。強度変調放射線治療（IMRT）専用機であるトモセラピーの他には高精度治療兼汎用機のリニアックとしてシナジーとトゥルービームを使用している。いずれの装置でも高精度治療では治療前 CT 照合を行い高精度な位置合わせを行う。本治療装置は高線量率の照射が可能となる特徴があり、体幹部定位照射の治療時間が短くなり、トモセラピーに近い複雑な IMRT の実施も可能になる。またガンマナイフ同様の脳定位照射が実施でき同時に複数個の治療が行える利点もある。近年本機の導入により高精度治療の対応範囲を増加しており、より治療精度が向上している。



# 研究所

(平成31年 4月 1日現在)

## 研究所棟本館

	7フロア	南	北	7フロア	
	6階	電気室	空調機械スペース	6階	
生物学総合実験棟	5階	腫瘍免疫応答研究分野	腫瘍免疫制御TR分野	5階	研究所棟北館
空調機械スペース	4階	分子診断TR分野 個別化医療TR分野	腫瘍制御学分野	4階	空調機械スペース
改修中	3階	がん標的治療TR分野	がん病態生理学分野	3階	総長室 がん情報・対策研究分野 システム解析学分野 セミナー室 等
管理室 バイオバンク部門 医局	2階	がん予防研究分野 分子遺伝学分野	分子腫瘍学分野	2階	図書室 共同機器室 小会議室 他
バイオバンク部門 共同機器室 学生研修室・更衣室 会議室	1階	共通機器室	共同機器室実験室	1階	運用部電算機室 保育所 他
空調機械室 電気室	地階	熱源機械室	実験動物飼育・実験室 その他	地階	電気室 その他

平成 14 年 1 月に竣工した研究所棟本館は、地下 1 階地上 5 階（一部 6 階）、総床面積 7,113 m<sup>2</sup> である。動物実験施設が設置され、免疫能の低い特殊なマウスや遺伝子改変マウスを用いた発がん・制がんの実験や、遺伝子機能解明のための実験が行われている。1 階には管理室や共通機器室、RI 実験室が置かれている。2 階から 5 階には実験室と、各フロア共同の RI 実験室や材料保存室、暗室が設置されている。

研究所棟北館は地下 1 階地上 3 階、総床面積 3,244 m<sup>2</sup> で、所長室等の管理部門、2 つの分野の研究室、共通機器室、がん登録室、図書室、セ

ミナー室、電算機室などが設置され、平成 26 年 4 月からは保育所も開設されている。

生物学総合実験棟は、地下 1 階地上 3 階、総床面積 2,116 m<sup>2</sup> の共同利用特殊実験棟として、昭和 63 年に完成した。1 階、2 階は、一昨年度、最新の使用目的に合うよう改修され、1 階にはバイオバンクや、共通機器室とともに、看護学生研修室、会議室も整備された。2 階には、従来からある管理室のほかにバイオバンク、医局が整備された。3 階は、今年度改修が行われ、2 つの分野の研究室として整備される。



## 1. iScan

がん細胞のゲノムには、遺伝子の変異だけでなく、エピゲノム（DNA のメチル化など、ゲノムの化学修飾）の異常がよく生じる。この装置を用いると、ゲノム全体にわたる DNA メチル化の変動を、定量的に解析することができる。バイオバンクのサンプルから、がん細胞に特徴的な CpG アイランドなどエピジェネティックに重要な領域を、迅速かつコスト効率良く同定できる機器である。



## 2. オールインワン蛍光顕微鏡

蛍光顕微鏡は、蛍光物質が発する光を利用して、目的のタンパクが細胞や組織中の何処に存在するかを観察する顕微鏡である。通常の蛍光顕微鏡と違って、オールインワン顕微鏡では暗室が不要で、クリアな画像を撮影できる。また、細胞および組織内でのタンパクの局在や発現量を経時的に追跡すること（タイムラプス法）も可能である。



## 3. レーザーマイクロダイセクション

がんの組織は、がん細胞だけでなく、免疫細胞や血管を構成する細胞など、多くの種類の細胞から成り立っている。レーザーマイクロダイセクションは、スライドガラス上の組織切片を顕微鏡下で観察しながら、混在する複数の細胞集団のなかから目的とする細胞塊をレーザーによって切り出し、採取、回収することのできる装置である。回収したサンプルは、分子生物学的な手法等を用いた解析に用いる。



## 4. 高機能フローサイトメータ

がんの組織は多くの種類の細胞から成り立っているが、細胞表面にはそれぞれの細胞種の目印となるタンパクが発現している。それらのタンパクに対する抗体で細胞を蛍光標識してフローサイトメータで解析すると、どのような細胞がどれくらいの数存在するか知ることができる。以前の装置は、4種類の蛍光しか解析できなかったのと比較して、本機器は、16種類の蛍光を解析できるため、解析能力が飛躍的に向上した。



# 組織と職員定数

組 織 (平成31年4月1日現在)



役職者一覽表

(平成31年4月1日現在)

役職名			氏名			備考			
総 運用部	長	高橋 隆							
	運用部長	服部 頼明							
	経営戦略室長	川津 弘之							
	管理課長	加藤 洋一							
病 院	病院長	丹羽 康正							
	副院長	岩田 広治							
		清水 泰博							
		樋田 豊明							
		室 圭							
		亀島 里美							
	消化器内科部長	原 和生							
	内視鏡部長	田近 正洋							
	呼吸器内科部長	樋田 豊明	副院長(兼)						
	血液・細胞療法部長	山本 一仁							
	薬物療法部長	室 圭	副院長(兼)						
	臨床検査部長	谷田部 恭	遺伝子病理診断部長(兼)						
	遺伝子病理診断部長	谷田部 恭							
	輸血部長	山本 一仁	血液細胞療法部長(兼)						
	頭頸部外科部長	花井 信広							
	形成外科部長	兵藤 伊久夫							
	呼吸器外科部長	黒田 浩章							
	乳腺科部長	岩田 広治	副院長(兼)						
	消化器外科部長	清水 泰博	副院長(兼)						
	整形外科部長	筑紫 聡							
	リハビリテーション部長	吉田 雅博							
	泌尿器科部長	曾我 倫久人							
	婦人科部長	水野 美香							
	脳神経外科部長	服部 和良							
	麻酔科部長	仲田 純也							
	集中治療部長	小森 康司							
	放射線診断・IVR部長	稲葉 吉隆							
放射線治療部長	古平 毅								
外来部長	堀尾 芳嗣								
病 院 研 究 所	手術部長	伊藤 誠二							
	循環器科部長	山本 充							
	緩和ケア部長	下山 理史							
	精神腫瘍科部長	小森 康永							
	看護部長	亀島 里美	副院長(兼)						
	薬剤部長	梶田 正樹							
	栄養管理部長	田近 正洋	内視鏡部長(兼)						
	医療安全管理部長	岩田 広治	副院長(兼)						
	臨床試験部長	安藤 正志							
	医療情報管理部長	樋田 豊明	副院長(兼)						
	外来化学療法センター長	室 圭	副院長(兼)						
	サルコマーセンター長	筑紫 聡	整形外科部長(兼)						
	リスク評価センター長	井本 逸勢							
	がんゲノム医療センター長	井本 逸勢	リスク評価センター長(兼)						
	個別化医療センター長	谷田部 恭	遺伝子病理診断部長(兼)						
	地域医療連携・相談支援センター長	樋田 豊明	副院長(兼)						
	緩和ケアセンター長	下山 理史	緩和ケア部長(兼)						
	研究所長	高橋 隆	事務取扱						
	副所長	関戸 好孝							
	がん情報・対策研究分野長	伊藤 秀美							
がん予防研究分野長	松尾 恵太郎								
分子遺伝学分野長	井本 逸勢	病院リスク評価センター長(兼)							
がん病態生理学分野長	青木 正博								
分子腫瘍学分野長	関戸 好孝	副所長(兼)							
システム解析学分野長	山口 類								
腫瘍制御学分野長	小根山 千歳								
腫瘍免疫応答研究分野長	欠								
腫瘍免疫制御・トランスレーショナルリサーチ分野長	松下 博和								
分子診断・トランスレーショナルリサーチ分野長	田口 歩								
がん標的治療・トランスレーショナルリサーチ分野長	衣斐 寛倫								
個別化医療・トランスレーショナルリサーチ分野長	谷田部 恭	病院遺伝子病理診断部長(兼)							
共通機器室長	青木 正博	がん病態生理学分野長(兼)							
バイオバンク部門長	松尾 恵太郎	がん予防研究分野長(兼)							

職種別・職員定数一覽表

(平成31年4月1日現在)

職種別	部門別	総数	運用部	病院	研究所
総務	数	755	29	673	53
医療社会事業員	務	35	28	7	
医師	員	158	1	128	29
歯科医師	師	2		1	1
理学士・研究員	士	13		1	12
診療放射線技師	技	29		29	
理学療法士	士	5		5	
言語聴覚士	士	1		1	
作業療法士	士	1		1	
薬剤師	師	35		35	
臨床検査技師	技	32		31	1
臨床工学技士	士	4		4	
看護師	師	393		393	
看護助手	手	1		1	
栄養士	士	3		3	
歯科衛生士	士	1		1	
その他給食関係職員	員	15		15	
臨床試験コーディネーター	ター	14		14	
遺伝カウンセラー	ラー	2		2	
研究補助	助	10			10

# 管理業務

## 会計予算

(収益的収入支出)

(単位 千円)

(款) 項	目	金 額	
		30年度当初予算	31年度当初予算
( 事業収益 )		23,085,119	24,256,938
医 業 収 益		20,006,032	21,060,530
	入 院 収 益	9,518,145	9,876,487
	外 来 収 益	8,520,140	9,199,115
	一般会計負担金	846,760	831,911
	その他医業収益	1,120,987	1,153,017
医 業 外 収 益		3,079,087	3,196,408
	受取利息配当金	1	1
	一般会計負担金	1,592,318	1,611,452
	一般会計補助金	5,651	4,504
	国庫補助金	13,685	13,681
	長期前受金戻入	107,378	134,853
	資本費繰入収益	730,941	796,109
	その他医業外収益	629,113	635,808
特 別 利 益	特 別 利 益	0	0
( 事業費用 )		22,319,890	23,484,917
医 業 費 用		22,121,839	23,286,280
	給 与 費	8,830,336	8,808,302
	材 料 費	8,905,042	9,868,045
	経 費	2,319,379	2,460,296
	減価償却費	1,397,140	1,375,369
	資産減耗費	53,174	67,439
	研究研修費	616,768	706,829
医 業 外 費 用		193,051	193,637
	支払利息・企債諸費	72,103	61,654
	長期前払消費税償却	50,855	54,851
	雑 損 失	2,001	7,001
	消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	68,092	70,131
特 別 損 失		0	0
予 備 費	予 備 費	5,000	5,000
差 引 損 益		765,229	772,021

## (資本的収入支出)

(単位 千円)

(款) 項	目	金 額	
		30年度当初予算	31年度当初予算
(資本的収入)		1,491,471	2,193,427
企 業 債	企 業 債	722,600	1,369,500
国庫支出金	国庫補助金	0	0
他会計出資金	一般会計出資金	0	0
他会計負担金	一般会計負担金	743,871	798,927
雑 収 入	雑 収 入	25,000	25,000
(資本的支出)		2,285,792	3,079,833
建設改良費		97,479	219,081
	建 設 費	0	0
	改 良 費	97,479	219,081
資産購入費		1,074,584	1,607,677
	医療器械購入費	688,228	1,223,822
	備品購入費	100	50
	リース債務費	386,256	383,805
企業債償還金	企業債償還金	1,113,729	1,253,075
収 支		△ 794,321	△ 886,406

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は過年度分の留保資金で充当する。

## 経営状況

(単位 千円・税抜き)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
事業収益	17,165,299	18,299,986	20,189,060	21,137,666	21,768,402	
内 訳	入院収益	7,782,370	8,144,735	8,470,312	8,609,581	8,799,421
	外来収益	5,271,329	5,944,954	7,053,008	7,903,662	8,448,080
	一般会計負担金	2,303,929	2,385,351	2,684,520	2,591,071	2,439,078
	そ の 他	1,807,671	1,824,946	1,981,220	2,033,352	2,081,823
特別利益	0	0	0	0	0	
事業費用	17,035,164	17,706,041	19,202,058	20,309,915	21,268,280	
内 訳	給 与 費	7,232,431	7,488,279	7,669,260	7,973,624	8,177,679
	そ の 他	9,802,733	10,217,762	11,532,798	12,336,291	13,090,601
特別損失	3,345,799	0	0	0	0	
経 常 損 益	130,136	593,945	987,002	827,751	500,122	
純 損 益	△ 3,215,663	593,945	987,002	827,751	500,122	

(注1) 経常損益は、事業収益から事業費用を差し引いたものをいう。

(注2) 純損益は、経常損益に特別損益を加えたものをいう。

# がん患者状況（院内登録）

## 年次別・部位別がん患者数（男女計）1964－2017

※平成8年までは、ICD 9による集計

がんの部位 区分 (ICD10)	全部位 (C00~D09)	食道がん (C15)	胃がん (C16)	結腸がん (C18)	直腸がん (C19~C21)	肝臓がん (C22)	頭頸部のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33,C34)	乳房がん (C50)	子宮がん (C53~C55 C58)	泌尿器のがん (C60~C68)	甲状腺がん (C73)	悪性リンパ腫 (C82,C84, C85,C96)	白血病 (C91~C95)	その他のがん
昭和39年(1964)	65	2	18	0	2	0	11	5	10	10	2	0	0	0	5
昭和40年(1965)	1,437	43	506	20	58	16	109	99	167	245	19	13	15	19	108
昭和41年(1966)	1,606	51	549	28	68	20	145	101	207	257	19	19	23	17	102
昭和42年(1967)	1,525	40	525	32	62	25	136	114	156	263	24	13	21	12	102
昭和43年(1968)	1,485	36	448	25	49	23	125	115	191	291	23	21	23	20	95
昭和44年(1969)	1,572	42	488	20	68	21	131	120	203	287	19	22	26	10	115
昭和45年(1970)	1,566	48	437	36	62	27	124	124	222	287	21	20	21	23	114
昭和46年(1971)	1,639	45	438	32	59	37	149	125	228	303	21	30	26	12	134
昭和47年(1972)	1,659	46	427	40	70	30	155	152	242	297	20	19	29	17	115
昭和48年(1973)	1,494	41	390	32	73	28	116	132	190	282	12	26	31	13	128
昭和49年(1974)	1,366	54	348	36	61	9	114	121	225	222	14	25	29	9	99
昭和50年(1975)	1,427	38	375	42	65	13	100	133	214	243	9	28	35	19	113
昭和51年(1976)	1,330	39	353	32	92	25	66	119	205	236	12	18	36	2	95
昭和52年(1977)	1,286	37	327	49	85	14	62	111	201	215	8	20	24	15	118
昭和53年(1978)	1,400	53	347	44	76	15	70	134	232	212	15	24	23	9	146
昭和54年(1979)	1,370	37	339	54	49	28	84	132	243	197	12	25	39	9	122
昭和55年(1980)	1,386	48	335	56	72	23	68	136	290	165	15	27	31	14	106
昭和56年(1981)	1,371	43	327	48	73	32	51	144	304	162	16	22	31	11	107
昭和57年(1982)	1,353	35	297	50	70	27	69	154	320	172	10	15	30	13	91
昭和58年(1983)	1,420	50	301	78	86	26	72	156	300	162	12	19	38	13	107
昭和59年(1984)	1,378	42	309	74	69	27	65	141	333	135	7	15	32	16	113
昭和60年(1985)	1,515	37	303	79	78	38	88	159	370	142	15	19	53	3	131
昭和61年(1986)	1,440	39	323	61	75	43	68	135	336	152	9	22	54	6	117
昭和62年(1987)	1,424	34	278	77	75	35	76	161	341	142	15	20	38	11	121
昭和63年(1988)	1,456	39	283	111	61	30	86	166	352	148	6	20	40	11	103
平成元年(1989)	1,287	33	277	68	55	32	86	157	275	141	7	28	34	10	84
平成2年(1990)	1,317	39	252	85	75	46	98	131	247	154	9	31	40	7	103
平成3年(1991)	1,298	39	225	100	73	40	67	141	283	168	6	22	36	10	88
平成4年(1992)	1,436	53	242	100	66	36	100	173	289	178	13	42	30	6	108
平成5年(1993)	1,547	52	278	128	79	66	93	190	318	145	14	28	44	9	103
平成6年(1994)	1,593	62	289	116	90	47	104	191	324	156	27	25	46	5	111
平成7年(1995)	1,545	53	260	124	79	51	115	188	306	107	65	25	42	4	126
平成8年(1996)	1,552	56	211	103	72	56	130	208	308	107	87	31	47	8	128
平成9年(1997)	1,683	48	247	115	69	66	152	227	318	134	73	27	42	12	153
平成10年(1998)	1,804	63	284	129	72	73	139	257	310	151	75	32	54	7	158
平成11年(1999)	1,889	72	260	103	86	65	144	288	383	115	83	31	50	11	198
平成12年(2000)	1,902	71	262	123	64	60	181	273	340	141	80	30	65	13	199
平成13年(2001)	2,069	121	261	140	103	59	170	309	352	162	83	44	61	11	193
平成14年(2002)	2,217	120	274	152	114	63	213	335	347	149	111	47	66	10	216
平成15年(2003)	2,296	124	276	161	118	61	207	326	327	160	148	51	79	8	250
平成16年(2004)	2,397	138	307	161	115	65	224	316	334	185	148	56	56	7	285
平成17年(2005)	2,637	163	331	171	169	81	236	347	378	196	142	45	65	11	302
平成18年(2006)	2,767	166	367	189	171	67	192	365	429	205	176	67	64	14	295
平成19年(2007)	2,831	178	358	175	181	75	219	359	424	175	202	66	45	19	355
平成20年(2008)	2,678	151	360	167	159	55	176	306	431	200	196	55	38	14	370
平成21年(2009)	2,967	165	320	165	161	85	264	402	440	263	231	56	36	22	357
平成22年(2010)	3,038	180	350	191	168	98	226	416	460	245	225	54	33	12	380
平成23年(2011)	3,036	181	329	174	156	77	261	412	498	208	227	59	38	15	401
平成24年(2012)	3,065	213	356	176	184	63	269	366	513	231	191	48	28	10	417
平成25年(2013)	3,063	187	331	181	158	65	296	388	535	221	192	64	29	15	401
平成26年(2014)	2,995	202	279	179	159	70	276	459	521	203	177	54	10	6	400
平成27年(2015)	3,053	167	332	184	185	66	280	471	486	169	211	50	2	5	445
平成28年(2016)	3,425	209	379	210	149	61	331	532	569	179	233	51	64	11	447
平成29年(2017)	3,572	243	360	206	188	69	303	539	574	188	237	57	87	12	509
合計	101,929	4,568	17,728	5,432	5,176	2,430	7,892	12,261	17,401	10,263	4,024	1,778	2,079	608	10,289

年次別・部位別がん患者割合(%) (男女計) 1964 - 2017 ※平成8年までは、ICD 9による集計

区分 (ICD10)	がんの部位 全部位 (C00~D09)	食道がん (C15)	胃がん (C16)	結腸がん (C18)	直腸がん (C19~C21)	肝臓がん (C22)	頭頸部のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33.C34)	乳房がん (C50)	子宮がん (C53~C55 C58)	泌尿器のがん (C60~C68)	甲状腺がん (C73)	悪性リンパ腫 (C82.C84 C85.C96)	白血病 (C91~C95)	その他のがん
昭和39年(1964)	100.0	3.1	27.6	0.0	3.1	0.0	16.9	7.7	15.4	15.4	3.1	0.0	0.0	0.0	7.7
昭和40年(1965)	100.0	3.0	35.3	1.4	4.0	1.1	7.6	6.9	11.6	17.1	1.3	0.9	1.0	1.3	7.5
昭和41年(1966)	100.0	3.2	34.2	1.7	4.2	1.2	9.0	6.3	12.9	16.0	1.2	1.2	1.4	1.1	6.4
昭和42年(1967)	100.0	2.6	34.4	2.1	4.1	1.6	8.9	7.5	10.2	17.2	1.6	0.9	1.4	0.8	6.7
昭和43年(1968)	100.0	2.4	30.2	1.7	3.3	1.5	8.5	7.8	12.9	19.6	1.5	1.4	1.5	1.3	6.4
昭和44年(1969)	100.0	2.7	31.1	1.3	4.3	1.3	8.3	7.6	12.9	18.3	1.2	1.4	1.7	0.6	7.3
昭和45年(1970)	100.0	3.1	27.9	2.3	4.0	1.7	7.9	7.9	14.2	18.3	1.3	1.3	1.3	1.5	7.3
昭和46年(1971)	100.0	2.7	26.7	2.0	3.6	2.3	9.1	7.6	13.9	18.5	1.3	1.8	1.6	0.7	8.2
昭和47年(1972)	100.0	2.8	25.8	2.4	4.2	1.8	9.3	9.2	14.6	18.0	1.2	1.1	1.7	1.0	6.9
昭和48年(1973)	100.0	2.7	26.1	2.1	4.9	1.9	7.8	8.8	12.7	18.9	0.8	1.7	2.1	0.9	8.6
昭和49年(1974)	100.0	4.0	25.4	2.6	4.5	0.7	8.3	8.9	16.5	16.3	1.0	1.8	2.1	0.7	7.2
昭和50年(1975)	100.0	2.7	26.3	2.9	4.6	0.9	7.0	9.3	15.0	17.0	0.6	2.0	2.5	1.3	7.9
昭和51年(1976)	100.0	2.9	26.6	2.4	6.9	1.9	5.0	8.9	15.4	17.7	0.9	1.4	2.7	0.2	7.1
昭和52年(1977)	100.0	2.9	25.4	3.8	6.6	1.1	4.8	8.6	15.6	16.7	0.6	1.6	1.9	1.2	9.2
昭和53年(1978)	100.0	3.8	24.8	3.1	5.4	1.1	5.0	9.6	16.6	15.2	1.1	1.7	1.6	0.6	10.4
昭和54年(1979)	100.0	2.7	24.8	3.9	3.6	2.0	6.1	9.6	17.8	14.4	0.9	1.8	2.8	0.7	8.9
昭和55年(1980)	100.0	3.5	24.2	4.0	5.2	1.7	4.9	9.8	21.0	11.9	1.1	1.9	2.2	1.0	7.6
昭和56年(1981)	100.0	3.1	23.9	3.5	5.3	2.3	3.7	10.5	22.2	11.8	1.2	1.6	2.3	0.8	7.8
昭和57年(1982)	100.0	2.6	22.0	3.7	5.2	2.0	5.1	11.4	23.6	12.7	0.7	1.1	2.2	1.0	6.7
昭和58年(1983)	100.0	3.5	21.2	5.5	6.1	1.8	5.1	11.0	21.2	11.4	0.8	1.3	2.7	0.9	7.5
昭和59年(1984)	100.0	3.0	22.4	5.4	5.0	2.0	4.7	10.2	24.2	9.8	0.5	1.1	2.3	1.2	8.2
昭和60年(1985)	100.0	2.4	20.0	5.2	5.1	2.5	5.8	10.5	24.5	9.4	1.0	1.3	3.5	0.2	8.6
昭和61年(1986)	100.0	2.7	22.4	4.2	5.2	3.0	4.7	9.4	23.4	10.6	0.6	1.5	3.8	0.4	8.1
昭和62年(1987)	100.0	2.4	19.5	5.4	5.3	2.5	5.3	11.3	23.9	9.9	1.1	1.4	2.7	0.8	8.5
昭和63年(1988)	100.0	2.7	19.4	7.6	4.2	2.1	5.9	11.4	24.1	10.2	0.4	1.4	2.7	0.8	7.1
平成元年(1989)	100.0	2.6	21.5	5.3	4.3	2.5	6.7	12.2	21.3	11.0	0.5	2.2	2.6	0.8	6.5
平成2年(1990)	100.0	3.0	19.1	6.5	5.7	3.5	7.4	9.9	18.8	11.7	0.7	2.4	3.0	0.5	7.8
平成3年(1991)	100.0	3.0	17.3	7.7	5.6	3.1	5.2	10.8	21.8	12.9	0.5	1.7	2.8	0.8	6.8
平成4年(1992)	100.0	3.7	16.9	7.0	4.6	2.5	7.0	12.0	20.1	12.4	0.9	2.9	2.1	0.4	7.5
平成5年(1993)	100.0	3.4	18.0	8.3	5.1	4.3	6.0	12.3	20.5	9.3	0.9	1.8	2.8	0.6	6.7
平成6年(1994)	100.0	3.9	18.1	7.3	5.6	3.0	6.5	12.0	20.3	9.8	1.7	1.6	2.9	0.3	7.0
平成7年(1995)	100.0	3.4	16.8	8.0	5.1	3.3	7.4	12.2	19.9	6.9	4.2	1.6	2.7	0.3	8.2
平成8年(1996)	100.0	3.6	13.6	6.6	4.6	3.6	8.4	13.5	19.9	6.9	5.6	2.0	3.0	0.5	8.2
平成9年(1997)	100.0	2.9	14.7	6.8	4.1	3.9	9.0	13.5	18.9	8.0	4.3	1.6	2.5	0.7	9.1
平成10年(1998)	100.0	3.5	15.7	7.2	4.0	4.0	7.7	14.2	17.1	8.4	4.2	1.8	3.0	0.4	8.8
平成11年(1999)	100.0	3.8	13.8	5.5	4.6	3.4	7.6	15.2	20.3	6.1	4.4	1.6	2.6	0.6	10.5
平成12年(2000)	100.0	3.7	13.7	6.5	3.4	3.2	9.5	14.4	17.8	7.4	4.2	1.6	3.4	0.7	10.5
平成13年(2001)	100.0	5.8	12.6	6.8	5.0	2.9	8.2	15.0	17.1	7.8	4.0	2.1	2.9	0.5	9.3
平成14年(2002)	100.0	5.4	12.4	6.9	5.1	2.8	9.6	15.1	15.7	6.7	5.0	2.1	3.0	0.5	9.7
平成15年(2003)	100.0	5.4	12.0	7.0	5.1	2.7	9.1	14.2	14.3	7.0	6.4	2.2	3.4	0.3	10.9
平成16年(2004)	100.0	5.8	12.9	6.7	4.8	2.7	9.3	13.2	13.9	7.7	6.2	2.3	2.3	0.3	11.9
平成17年(2005)	100.0	6.2	12.6	6.5	6.4	3.1	8.9	13.2	14.3	7.4	5.3	1.7	2.5	0.4	11.5
平成18年(2006)	100.0	6.0	13.3	6.8	6.2	2.4	6.9	13.2	15.5	7.4	6.4	2.4	2.3	0.5	10.7
平成19年(2007)	100.0	6.3	12.7	6.2	6.4	2.6	7.7	12.7	15.0	6.2	7.1	2.3	1.6	0.7	12.5
平成20年(2008)	100.0	5.6	13.4	6.2	5.9	2.1	6.6	11.4	16.1	7.5	7.3	2.1	1.4	0.5	13.9
平成21年(2009)	100.0	5.6	10.8	5.6	5.4	2.9	8.9	13.5	14.8	8.9	7.8	1.9	1.2	0.7	12.0
平成22年(2010)	100.0	5.9	11.6	6.3	5.5	3.2	7.4	13.7	15.1	8.1	7.4	1.8	1.1	0.4	12.5
平成23年(2011)	100.0	6.0	10.8	5.7	5.1	2.5	8.6	13.6	16.4	6.9	7.5	1.9	1.3	0.5	13.2
平成24年(2012)	100.0	6.9	11.7	5.7	6.0	2.1	8.8	11.9	16.8	7.5	6.2	1.6	0.9	0.3	13.6
平成25年(2013)	100.0	6.1	10.8	5.9	5.2	2.1	9.7	12.7	17.4	7.2	6.3	2.1	0.9	0.5	13.1
平成26年(2014)	100.0	6.7	9.3	6.0	5.3	2.3	9.2	15.4	17.4	6.8	5.9	1.8	0.3	0.2	13.4
平成27年(2015)	100.0	5.5	10.9	6.0	6.1	2.2	9.2	15.4	15.9	5.5	6.9	1.6	0.1	0.2	14.5
平成28年(2016)	100.0	6.1	11.1	6.1	4.4	1.8	9.7	15.5	16.6	5.2	6.8	1.5	1.9	0.3	13.0
平成29年(2017)	100.0	6.8	10.1	5.8	5.3	1.9	8.5	15.1	16.1	5.3	6.6	1.6	2.4	0.3	14.2
合計	100.0	4.5	17.4	5.3	5.1	2.4	7.7	12.1	17.1	10.1	3.9	1.7	2.0	0.6	10.1

登録（診断）年次別がん患者の生存数（男女計） 1964 - 2016

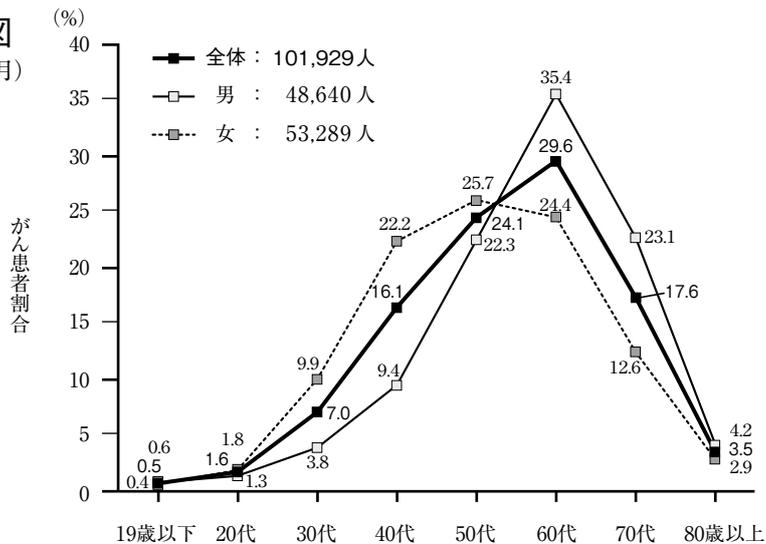
登録（診断）年	症例数	経過年数					
		1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年(1964)	65	38	33	31	26	23	15
昭和40年(1965)	1,437	800	637	572	541	508	414
昭和41年(1966)	1,606	963	764	673	640	613	507
昭和42年(1967)	1,525	914	708	619	576	551	444
昭和43年(1968)	1,485	939	746	661	617	582	472
昭和44年(1969)	1,572	981	789	698	631	594	503
昭和45年(1970)	1,566	1,016	802	723	670	628	535
昭和46年(1971)	1,639	1,049	850	768	701	642	536
昭和47年(1972)	1,659	1,103	907	820	753	713	593
昭和48年(1973)	1,494	1,007	841	745	704	664	558
昭和49年(1974)	1,366	948	771	686	640	599	500
昭和50年(1975)	1,427	963	776	704	659	634	553
昭和51年(1976)	1,330	926	759	677	640	605	506
昭和52年(1977)	1,286	906	736	677	630	599	521
昭和53年(1978)	1,400	985	816	746	692	655	553
昭和54年(1979)	1,370	994	828	754	706	674	580
昭和55年(1980)	1,386	1,011	846	779	724	688	589
昭和56年(1981)	1,371	1,021	861	779	741	696	588
昭和57年(1982)	1,353	999	858	774	736	707	572
昭和58年(1983)	1,420	1,058	890	806	741	707	600
昭和59年(1984)	1,378	1,046	883	802	753	721	614
昭和60年(1985)	1,515	1,198	1,024	923	858	828	711
昭和61年(1986)	1,440	1,124	974	883	835	795	667
昭和62年(1987)	1,424	1,127	969	881	805	767	650
昭和63年(1988)	1,456	1,163	1,013	924	876	849	738
平成元年(1989)	1,287	1,008	883	819	784	757	641
平成2年(1990)	1,317	1,072	925	867	824	788	685
平成3年(1991)	1,298	1,080	943	873	826	786	684
平成4年(1992)	1,436	1,169	1,009	935	893	858	735
平成5年(1993)	1,547	1,253	1,086	985	938	899	764
平成6年(1994)	1,593	1,305	1,160	1,073	1,005	966	828
平成7年(1995)	1,545	1,259	1,095	992	931	900	759
平成8年(1996)	1,552	1,282	1,122	1,009	966	912	777
平成9年(1997)	1,683	1,406	1,211	1,100	1,036	993	844
平成10年(1998)	1,804	1,466	1,285	1,174	1,107	1,052	888
平成11年(1999)	1,889	1,538	1,325	1,220	1,149	1,103	943
平成12年(2000)	1,902	1,577	1,369	1,266	1,187	1,121	951
平成13年(2001)	2,069	1,676	1,485	1,365	1,272	1,207	1,002
平成14年(2002)	2,217	1,822	1,575	1,412	1,317	1,255	1,054
平成15年(2003)	2,296	1,908	1,664	1,536	1,436	1,362	1,157
平成16年(2004)	2,397	2,027	1,736	1,588	1,504	1,433	1,236
平成17年(2005)	2,637	2,234	1,943	1,773	1,670	1,609	1,382
平成18年(2006)	2,767	2,363	2,085	1,940	1,834	1,774	1,534
平成19年(2007)	2,831	2,415	2,154	2,002	1,898	1,818	1,570
平成20年(2008)	2,678	2,341	2,126	1,979	1,854	1,772	1,580
平成21年(2009)	2,967	2,531	2,250	2,077	1,974	1,894	
平成22年(2010)	3,038	2,618	2,308	2,124	2,005	1,934	
平成23年(2011)	3,036	2,626	2,329	2,169	2,072	1,983	
平成24年(2012)	3,065	2,654	2,353	2,172	2,063	2,016	
平成25年(2013)	3,063	2,605	2,321	2,178	2,108	2,089	
平成26年(2014)	2,995	2,586	2,333	2,226	2,210		
平成27年(2015)	3,053	2,622	2,434	2,406			
平成28年(2016)	3,425	3,052	3,012				

登録（診断）年次別がん患者の実測生存率（%）（男女計） 1964 - 2016

登録（診断）年	経過年数					
	1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年（1964）	58.5	50.8	47.7	40.0	35.4	23.1
昭和40年（1965）	55.7	44.3	39.8	37.6	35.4	28.8
昭和41年（1966）	60.0	47.6	41.9	39.9	38.2	31.6
昭和42年（1967）	59.9	46.4	40.6	37.8	36.1	29.1
昭和43年（1968）	63.2	50.2	44.5	41.5	39.2	31.8
昭和44年（1969）	62.4	50.2	44.4	40.1	37.8	32.0
昭和45年（1970）	64.9	51.2	46.2	42.8	40.1	34.2
昭和46年（1971）	64.0	51.9	46.9	42.8	39.2	32.7
昭和47年（1972）	66.5	54.7	49.4	45.4	43.0	35.7
昭和48年（1973）	67.4	56.3	49.9	47.1	44.4	37.3
昭和49年（1974）	69.4	56.4	50.2	46.9	43.9	36.6
昭和50年（1975）	67.5	54.4	49.3	46.2	44.4	38.8
昭和51年（1976）	69.6	57.1	50.9	48.1	45.5	38.0
昭和52年（1977）	70.5	57.2	52.6	49.0	46.6	40.5
昭和53年（1978）	70.4	58.3	53.3	49.4	46.8	39.5
昭和54年（1979）	72.6	60.4	55.0	51.5	49.2	42.3
昭和55年（1980）	72.9	61.0	56.2	52.2	49.6	42.5
昭和56年（1981）	74.5	62.8	56.8	54.0	50.8	42.9
昭和57年（1982）	73.8	63.4	57.2	54.4	52.3	42.3
昭和58年（1983）	74.5	62.7	56.8	52.2	49.8	42.3
昭和59年（1984）	75.9	64.1	58.2	54.6	52.3	44.6
昭和60年（1985）	79.1	67.6	60.9	56.6	54.7	46.9
昭和61年（1986）	78.1	67.6	61.3	58.0	55.2	46.3
昭和62年（1987）	79.1	68.0	61.9	56.5	53.9	45.6
昭和63年（1988）	79.9	69.6	63.5	60.2	58.3	50.7
平成元年（1989）	78.3	68.6	63.6	60.9	58.8	49.8
平成2年（1990）	81.4	70.2	65.8	62.6	59.8	52.0
平成3年（1991）	83.2	72.7	67.3	63.6	60.6	52.7
平成4年（1992）	81.4	70.3	65.1	62.2	59.7	51.2
平成5年（1993）	81.0	70.2	63.7	60.6	58.1	49.4
平成6年（1994）	81.9	72.8	67.4	63.1	60.6	52.0
平成7年（1995）	81.5	70.9	64.2	60.3	58.3	49.1
平成8年（1996）	82.6	72.3	65.0	62.2	58.8	50.1
平成9年（1997）	83.5	72.0	65.4	61.6	59.0	50.1
平成10年（1998）	81.3	71.2	65.1	61.4	58.3	49.2
平成11年（1999）	81.4	70.1	64.6	60.8	58.4	49.9
平成12年（2000）	82.9	72.0	66.6	62.4	58.9	50.0
平成13年（2001）	81.0	71.8	66.0	61.5	58.3	48.4
平成14年（2002）	82.2	71.0	63.7	59.4	56.6	47.5
平成15年（2003）	83.1	72.5	66.9	62.5	59.3	50.4
平成16年（2004）	84.6	72.4	66.2	62.7	59.8	51.6
平成17年（2005）	84.7	73.7	67.2	63.3	61.0	52.4
平成18年（2006）	85.4	75.4	70.1	66.3	64.1	55.4
平成19年（2007）	85.3	76.1	70.7	67.0	64.2	55.5
平成20年（2008）	87.4	79.4	73.9	69.2	66.2	59.0
平成21年（2009）	85.3	75.8	70.0	66.5	63.8	
平成22年（2010）	86.2	76.0	69.9	66.0	63.7	
平成23年（2011）	86.5	76.7	71.4	68.2	65.3	
平成24年（2012）	86.6	76.8	70.9	67.3	65.8	
平成25年（2013）	85.0	75.8	71.1	68.8	68.2	
平成26年（2014）	86.3	77.9	74.3	73.8		
平成27年（2015）	85.9	79.7	78.8			
平成28年（2016）	89.1	87.9				

### がん患者 年齢構成図

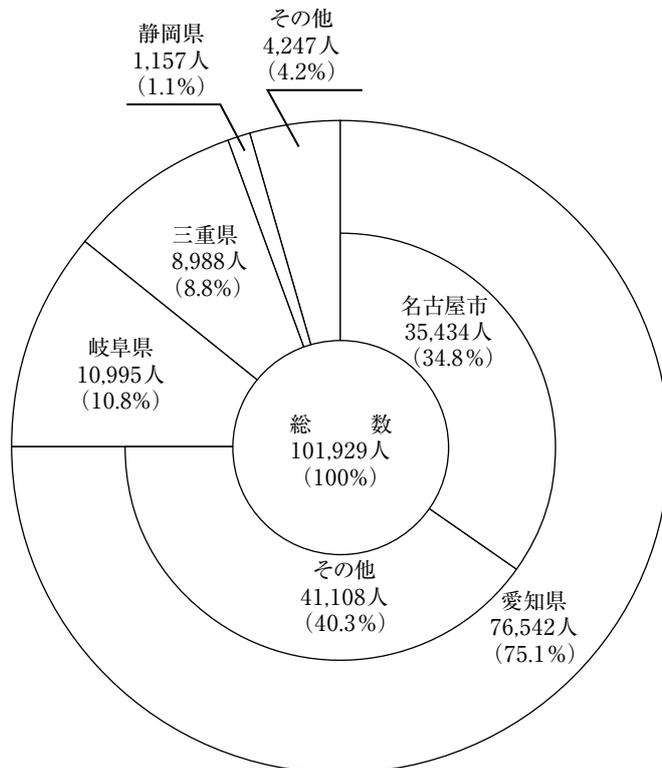
(昭和39年12月～平成29年12月)



		19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
男	患者数	299	613	1,827	4,581	10,842	17,196	11,241	2,041	48,640
	%	0.6%	1.3%	3.8%	9.4%	22.3%	35.4%	23.1%	4.2%	100.0%
女	患者数	224	978	5,284	11,821	13,718	12,980	6,724	1,560	53,289
	%	0.4%	1.8%	9.9%	22.2%	25.7%	24.4%	12.6%	2.9%	100.0%
計	患者数	523	1,591	7,111	16,402	24,560	30,176	17,965	3,601	101,929
	%	0.5%	1.6%	7.0%	16.1%	24.1%	29.6%	17.6%	3.5%	100.0%

### がん患者 県別分布数

(昭和39年12月～平成29年12月)



## レジデント履修状況

区 分	総 数	消化器 内科コース	呼吸器 内科コース	腫瘍内科・ 血液内科 コース	頭 頸 部 外科コース	呼吸器外 科・乳腺科 コース	消化器 外科コース	婦人科・泌尿器 科・整形外科・形 成外科コース	放 射 線 診断コース	放 射 線 治療コース	遺 伝 子 断 断 コ ー ス	麻 酔 科 コ ー ス
昭和61～ 平成27年度	1,135	112	60	72	108	157	139	58	91	304	32	2
28年度	55	10	4	7	4	7	7	4	5	3	3	1
29年度	55	8	3	8	3	11	10	2	3	3	3	1
30年度	46	4	3	4	3	10	12	2	5	1	2	0
総 数	1,291	134	70	91	118	185	168	66	104	311	40	4

(注)呼吸器外科・乳腺科コースは、平成22年度までは胸部外科・乳腺科コース

## リサーチレジデント履修状況

区 分	総 数	疫学・予防学 コース	腫瘍病理学 コース	分子腫瘍学 コース	遺伝子医療 研究コース	腫瘍免疫学 コース	分子病態学 コース	感染腫瘍学 コース	腫瘍医化学 コース	臨床研究 基礎コース
平成13～ 平成27年度	149	15	15	19	17	19	13	18	26	7
28年度	10	1	0	3	2	0	2	0	2	0
29年度	8	0	0	2	2	0	3	1	0	0
30年度	6	1	0	1	1	0	2	1	0	0
総 数	173	17	15	25	22	19	20	20	28	7

(注) 感染腫瘍学コースは、平成25年度までは腫瘍ウイルス学コース  
腫瘍医化学コースは、平成25年度までは発がん制御研究コース

## 医療技術者研修受入れ状況

区 分	総 数	昭和41～ 平成25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
総 数	5,713	5,369	74	72	66	62	70
医 師	3,599	3,399	51	26	36	44	43
診 療 放 射 線 技 師	228	225	1	0	1	1	0
臨 床 ( 衛 生 ) 検 査 技 師	610	579	3	7	5	6	10
看 護 師	317	300	2	15	0	0	0
そ の 他	959	866	17	24	24	11	17

## 図書蔵書状況

年度	種類	計	単 行 本		専 門 雑 誌	
			洋	和	洋	和
受 入 数	昭和40～平成27年度	72,599	11,936	20,157	28,400	12,106
	28年度	1,073	56	736	17	264
	29年度	1,054	75	702	1	276
	30年度	900	46	666	0	188
除 籍 累 計		19,597	3,525	4,397	9,852	1,823
総 数		56,029	8,588	17,864	18,566	11,011

# 主な備品・設備

備 品 (平成31年4月1日現在)

(3,000万円以上)

品 名	取得年度	型 式	数量	設置場所
FPD搭載Cアーム型デジタルX線テレビシステム	平成24年度	Ultimax-i 東芝	1	内視鏡部
上部消化管内視鏡手術総合システム	平成25年度	EVIS LUCERA ELITE オリンパス	1	内視鏡部
心電図自動解析装置	平成3年度	FCP-800 フクダ電子	1	血液・細胞療法部
自動化学分析装置	平成23年度	Labospect008 (タイプ1)	1	臨床検査部
全自動血液検査システム	平成27年度	XN-3000+DI-60 シスメックス	1	臨床検査部
診断用X線装置	※ 昭和61年度	KXO850 東芝	1	放射線診断・IVR部
全身用X線コンピュータ断層撮影装置	平成17年度	Aquilion32	1	放射線診断・IVR部
血管造影検査治療システム	平成19年度	AquilionLB/INFX-8000C 東芝	1	放射線診断・IVR部
磁気共鳴断層撮影装置	平成20年度	Singa HDxt 3.0T GE	1	放射線診断・IVR部
Cアーム型X線テレビシステム	平成21年度	ULTIMAX-I	1	放射線診断・IVR部
乳房X線撮影装置	平成21年度	Senographe DS Depister GE	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線撮影装置	平成22年度	FUJIFILM DR BENE0 富士	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	平成22年度	CUREVISTA 日立メディコ	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	平成24年度	Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
2検出器可変型ガンマカメラシステム	平成24年度	Infinia3 Hawkeye4 GE	1	放射線診断・IVR部
乳房X線撮影装置	平成25年度	AMULET Innovality 富士	1	放射線診断・IVR部
画像保存通信装置	平成26年度	SYNAPSE/Rapideyecore 富士	1	放射線診断・IVR部
IVR-CT	平成27年度	Infinix Celeve-I INFX-8000C・Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	平成29年度	Aquilion PRIME キヤノンメディカルシステムズ	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	平成29年度	EXAVISTA ㈱日立製作所	1	放射線診断・IVR部
磁気共鳴断層撮影装置	平成30年度	SIGNA Architect3.0T GE	1	放射線診断・IVR部
医療用リニアアクセラレータ	平成17年度	H i -ARTシステム・Tomo Therapy	1	放射線治療部
小線源確認写真撮影装置	平成19年度	Cvision PLUS 島津	1	放射線治療部
放射線治療位決め装置	平成19年度	LX-40A 東芝	1	放射線治療部
医療用リニアック	平成23年度	Synergy エレクタ	1	放射線治療部
放射線治療情報システム	平成23年度	MOSAIQ OIS エレクタ	1	放射線治療部
全身用エックス線コンピュータ断層撮影装置	平成26年度	Aquilion LB・TSX-201A 東芝	1	放射線治療部
遠隔操作式腔内治療装置	平成26年度	マイクロセレクトロンHDRシステム ニュークレトロン	1	放射線治療部
医療用リニアック	平成28年度	Truebeam バリアン	1	放射線治療部
集中患者監視システム	平成3年度	CBN-3000CN特型 コーリン電子	1	手術室
手術室内 I T V システム	※ 平成3年度	特型 ソニー	1	手術室
手術用顕微鏡	平成25年度	OPMI PENTERO 900 カールツァイスメディテック	1	手術室
ロボット支援手術用システム	平成27年度	da vinci xi インテュイティブサージカル	1	手術室
術中ナビゲーションシステム	平成29年度	Stealth Station S7 日本メドトロニック	1	手術室
手術用顕微鏡システム	平成29年度	KINEVO900 カールツァイス	1	手術室
自動カート洗浄装置	※ 平成3年度	CWR-2500W サクラ精機	1	中材事務室
カルテ保管庫	※ 平成5年度	カルテ管理システム 日本ファイリング	1	診療録管理室
動物飼育設備	平成11年度	ダイダマン	1	研究所
共焦点レーザー顕微鏡	平成18年度	LSM510MATE-ACC カールツァイス	1	研究所
放射線管理総合システム	平成21年度	MSR3000 アロカ	1	研究所
高速自動セルソーター	平成25年度	FACS AriaⅢ 日本ベクトンデッキンソン	1	研究所
次世代DNAシーケンサー	平成26年度	NextSeq500システム イルミナ	1	研究所
共焦点レーザー顕微鏡	平成28年度	LSM800 カールツァイス	1	研究所
動物用コンピューター断層撮影装置	平成29年度	CosmoSca n GX II リガク	1	研究所
質量分析システム	平成22年度	4800 Plus MALDI TOF/TOF Analyzer エービー・サイエックス	1	研究所
中央実験台等	※ 平成11年度	イトーキ	1	研究所

(注) ※印の備品は、年金積立金還元融資を受けて購入

附属設備 (平成31年4月1日現在)

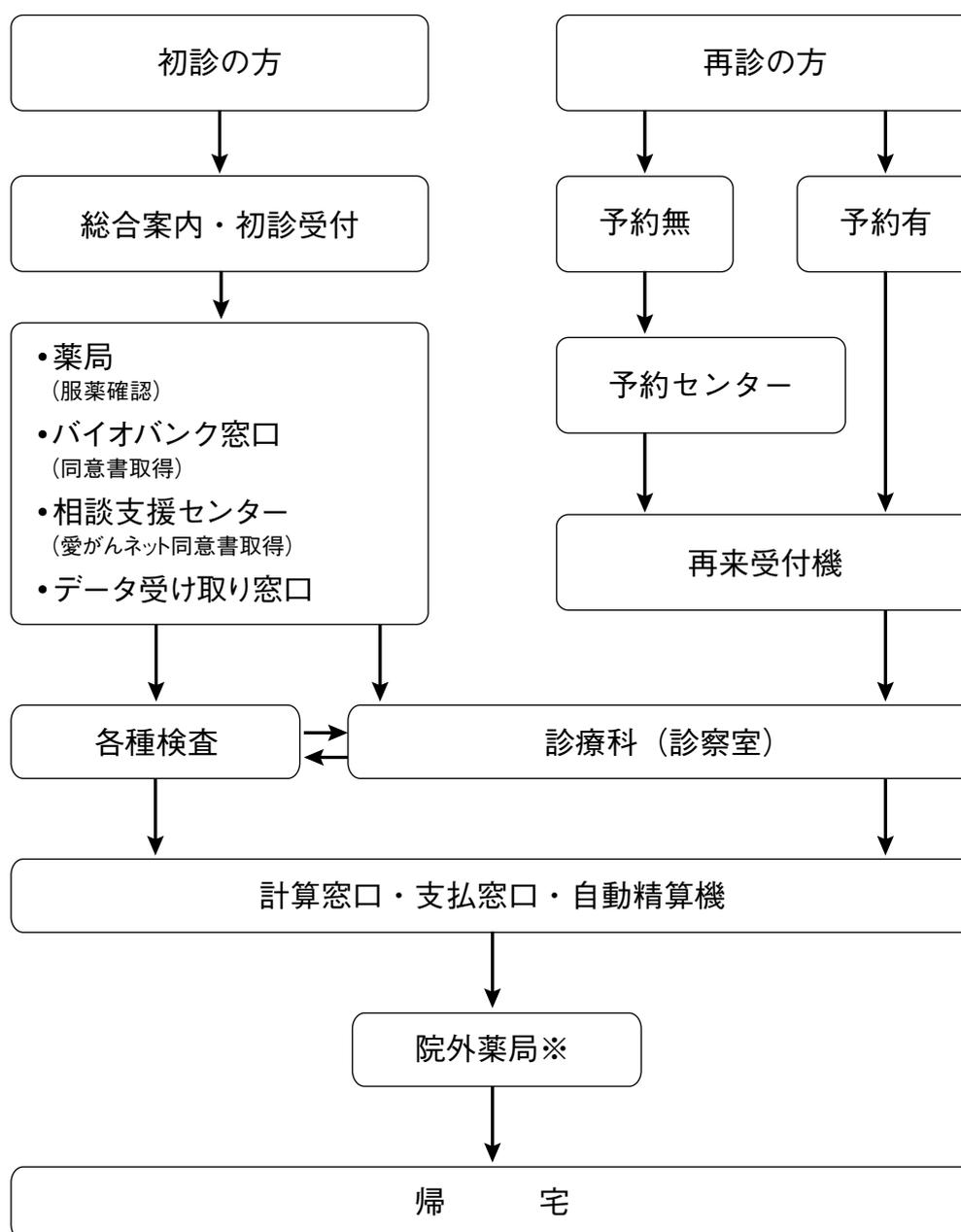
設備名	設 備 機 械	数量	設備名	設 備 機 械	数量	設備名	設 備 機 械	数量
空気換気設備	冷 凍 機	4	電気設備	特高受電用変圧器	2	医療ガス設備	液体酸素貯蔵タンク	1
	ヒートポンプチャラー	4		高圧配電用変圧器	49		真空ポンプ(吸引用)	4
	ボ イ ラ ー	2		非 常 用 発 電 機	3		液体窒素貯蔵タンク	1
	貫 流 ボ イ ラ ー	3		常用発電機(コージェネ)	1		純正空気用混合器	1
	冷 温 水 発 生 器	5		常用発電機(小水力)	1			
	空 調 機	118		電 話 交 換 機	1			
	送 排 風 機	322		昇 降 機	19			

# 病院業務 (平成31年4月1日現在)

**診療科目** 消化器内科、内視鏡内科、呼吸器内科、血液内科、薬物療法内科、臨床検査科、病理診断科、循環器内科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、婦人科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、脳神経外科、眼科、歯科、緩和ケア内科、腫瘍精神科、リハビリテーション科 計 26診療科

**病床数** 500床

## 外来診療の流れ



※薬剤によっては院内薬局にて処方する場合があります。

## 外来患者状況

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
診 療 日 数	244	243	243	244	244
新 来 患 者 数	5,279	5,240	5,404	5,705	5,502
患 者 延 数	141,149	138,798	139,270	144,006	145,559
1 日 平 均 患 者 数	578.5	571.2	573.1	590.2	596.6
平 均 通 院 回 数	26.7	26.5	25.8	25.2	26.5
紹 介 患 者 比 率 (%)	93.7	95.4	96.2	97.1	97.8
外 来 化 学 療 法 件 数	19,820	20,120	21,388	25,249	27,005

## 入院患者状況

区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
患 者 総 数	総 数	9,508	10,143	10,631	10,923	11,156
	繰 越	327	368	354	342	307
	新入院	9,181	9,775	10,289	10,581	10,849
退 院 患 者 数	総 数	9,140	9,789	10,301	10,616	10,828
	死 亡	372	370	346	392	315
	そ の 他	8,768	9,419	9,955	10,224	10,513
患 者 延 数		135,983	141,559	140,407	141,017	137,547
1 日 平 均 患 者 数		372.6	386.8	384.7	386.3	376.8
平 均 在 院 日 数		13.9	13.5	12.6	12.3	11.69
病 床 利 用 率 (%)		78.8	81.8	81.3	81.7	79.7
病 床 回 転 率 (%)		24.6	25.3	26.8	27.4	28.8
死 亡 率 (%)		4.1	3.8	3.4	3.7	2.9

## 住所地別患者数

区 分	住 所 地	27年度		28年度		29年度		30年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
外 来 新 来 患 者 数	愛 知 県	3,875	74.0	4,006	74.1	4,547	79.7	4,308	78.3
	名古屋市	1,932	36.9	2,049	37.9	2,528	44.9	2,363	42.9
	そ の 他	1,943	37.1	1,957	36.2	2,019	34.8	1,945	35.4
	県 外	1,365	26.0	1,398	25.9	1,158	20.3	1,194	21.7
	総 数	5,240	100.0	5,404	100.0	5,705	100.0	5,502	100.0
新 患 者 入 院 数	愛 知 県	7,102	72.7	7,565	73.5	7,828	74.0	8,095	74.6
	名古屋市	3,264	33.4	3,482	33.8	3,607	34.1	3,748	34.5
	そ の 他	3,838	39.3	4,083	39.7	4,221	39.9	4,347	40.1
	県 外	2,673	27.3	2,724	26.5	2,753	26.0	2,754	25.4
	総 数	9,775	100.0	10,289	100.0	10,581	100.0	10,849	100.0

## 患者給食実施状況

区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
入院患者延数		135,983	141,559	140,407	141,017	137,547
給食数 (配膳延食数)	総数	274,200	288,334	291,474	288,656	277,450
	一般食	240,388	256,580	266,845	263,782	253,126
	特別食	33,812	31,754	24,629	24,874	24,324

## 放射線照射回数（診断—直接撮影件数）

区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
総数		46,564	47,533	51,630	51,296	51,946
単純撮影		40,524	41,545	45,641	45,109	45,298
造影撮影		4,528	4,423	4,707	4,995	5,165
特殊撮影		1,512	1,565	1,282	1,192	1,483

## アイソトープ検査件数

区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
総数		845	876	834	882	743
シンチスキャン		507	576	537	502	387
センチネルリンパ		333	296	271	341	331
動態計測		5	4	26	39	25

## コンピュータ断層撮影（CT）件数

区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
総件数		17,588	18,350	19,270	20,363	22,933

## 超音波断層撮影件数

区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
総数		3,517	3,990	4,243	4,226	3,903
部位別	甲状腺	267	250	290	325	319
	乳腺	667	832	890	802	854
	腹部	2,133	2,350	2,506	2,580	2,389
	その他	450	558	557	519	341

(注) 放射線診断部・I V R部 超音波検査室における超音波検査件数。

## MRI件数

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
総 数	3,872	4,000	4,080	4,100	4,002

## 放射線照射回数（治療）

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
総 数	51,702	49,109	43,565	45,532	50,641	
放射線治療計画策定件数	1,476	1,438	1,364	1,352	1,650	
放射性物質	R A L S	49	58	116	95	109
	小 線 源	17	9	14	12	4
そ の 他	リ ニ ア ッ ク	49,032	46,481	41,020	42,943	47,515
	C T	1,083	1,091	1,016	1,117	1,354
	シミュレーター	45	32	35	13	9

## 一般臨床検査件数

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
総 数	3,047,702	3,082,403	3,195,147	3,381,703	3,429,166	
尿 検 査	26,452	28,808	29,664	31,026	31,737	
糞 便 検 査	426	354	322	305	232	
血液学的検査	949,938	954,917	984,776	1,035,217	1,044,551	
生化学的検査	1,612,858	1,632,613	1,693,151	1,804,583	1,839,245	
細菌学的検査 （監視培養検査）	23,213 (1,563)	21,140 (1,674)	22,830 (1,721)	25,293 (1,727)	22,542 (1,669)	
血清学的検査	223,968	230,735	240,817	254,321	258,012	
病理組織検査	8,629	8,954	9,420	9,682	9,825	
癌遺伝子検査	2,223	2,250	2,494	2,570	2,626	
細胞学的検査	7,347	7,227	8,452	7,463	6,539	
血液ガス検査	4,374	4,743	5,039	1,151	1,099	
その他	採血業務	185,991	188,279	195,891	207,792	210,722
	治験処理等	2,283	2,383	2,291	2,300	2,036

（注）（ ）内は内数。

## 機能検査件数

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
総 数	20,911	23,517	23,024	23,108	22,820
心 電 図 検 査	5,065	6,698	5,272	5,355	5,261
負 荷 心 電 図 検 査	2,038	2,073	2,255	2,275	2,287
トレッドミル検査	843	921	1,089	1,029	633
ホルター心電図検査	273	216	210	191	73
心臓超音波検査	2,789	2,971	3,158	3,265	3,046
肺機能検査	8,944	9,560	9,863	9,920	10,418
ピロリ菌呼気試験	162	133	125	109	82
聴 力 検 査	116	120	165	153	148
乳腺超音波検査	681	825	887	811	872
骨塩定量検査	0	0	0	0	0
そ の 他 検 査	0	0	0	0	0

(注) その他の検査はベクトル心電図検査、心音図検査、心拍出量検査、脳波検査を含む。

## 部門別検査件数 (県立病院統一件数)

区 分	28年度			29年度			30年度		
	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数
総 数	3,248,555	3,213,099	35,456	3,378,333	3,340,805	37,528	3,449,575	3,411,327	38,248
一般検査	125,044	124,986	58	132,924	132,859	65	133,366	133,316	50
血液検査	672,164	670,395	1,769	706,553	704,857	1,696	760,471	758,981	1,490
免疫血清検査	217,914	206,858	11,056	184,492	175,051	9,441	161,650	153,493	8,157
生化学検査	1,859,174	1,838,783	20,391	1,956,376	1,932,750	23,626	2,001,012	1,974,555	26,457
微生物検査	47,648	45,591	2,057	54,296	51,705	2,591	48,154	46,142	2,012
病理細胞診検査	104,831	104,831	0	109,875	109,875	0	108,786	108,786	0
生理検査	23,024	22,899	125	23,108	22,999	109	22,820	22,738	82
その他の検査	198,756	198,756	0	210,709	210,709	0	213,316	213,316	0

(注) 愛知県立病院での統一件数集計方式による。

## 内視鏡検査件数

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
総 数	9,878	10,281	10,509	11,258	11,650
上 部 消 化 管	5,566	5,797	5,958	6,352	6,572
下 部 消 化 管	2,617	2,684	2,708	2,874	2,890
気 管 支	210	156	181	218	181
膵胆管造影(ERCP)	476	491	494	501	515
超音波内視鏡(EUS)	669	766	760	862	1,036
超音波内視鏡下穿刺生検 (EUS-FNA)	340	387	408	451	456

## 内視鏡治療件数

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
総 数	956	1,009	1,001	1,225	1,297
食 道 E M R	17	8	14	5	7
胃 E M R	4	3	2	0	0
大腸EMR、ポリペク	289	300	325	362	357
食 道 E S D	59	52	70	59	61
胃 E S D	81	84	95	85	96
大 腸 E S D	57	56	55	56	58
食道狭窄拡張術	148	213	146	197	151
胆道ステント留置術	163	179	191	327	399
乳頭切開術、胆道碎石術	138	114	103	134	168

## 手術件数

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
総 数	2,805	3,002	3,140	3,230	3,351
頭 頸 部 外 科	510	526	520	453	502
呼 吸 器 外 科	350	403	378	398	389
乳 腺 科	484	459	480	475	489
消 化 器 外 科	767	820	843	910	962
婦 人 科	271	260	285	289	255
泌 尿 器 科	169(17)	168(8)	216(13)	235(12)	239(4)
整 形 外 科	141	237	278	297	320
形 成 外 科	107	115	117	148	145
そ の 他	6	14	23	25	50

(注) 各年度、手術室で実施した手術件数で、外来手術は含まない。  
泌尿器科の( )内は小線源治療数(外数)

## 主な部位別手術症例数・特殊治療件数

部 位	28年度	29年度	30年度	部 位	28年度	29年度	30年度
頭 頸 部 が ん	374	345	371	子 宮 頸 が ん	60	57	51
食 道 が ん	77	91	93	(円錐切除)	59	54	57
肺 が ん	280	302	275	子 宮 体 が ん	68	67	59
乳 が ん	434	477	419	卵 巢 が ん	43	46	35
胃 が ん	218	176	171	前 立 腺 が ん	48	52	67
大 腸 が ん	333	385	399	悪 性 骨 軟 部 腫 瘍	58	62	69
肝 ・ 胆 が ん	91	91	80	I V R	1,861	1,980	1,905
膵 臓 が ん	83	81	103	造 血 幹 細 胞 同 種	2	2	0
				移 植 自 家	4	1	7

(注) がんの部位別手術症例数は、各診療科保有のデータによる。

## 薬剤業務状況

区 分			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			総数	総数	総数	総数	総数
処 方	枚 数	総 数	76,590	78,765	82,269	83,091	81,216
		外 来	7,004	7,000	7,522	8,993	10,666
		入 院	69,586	71,765	74,747	74,098	70,550
	剤 数	総 数	149,053	156,003	169,506	174,113	173,633
		外 来	23,907	23,660	26,320	32,502	37,035
		入 院	125,146	132,343	143,186	141,611	136,598
延 剤 数	総 数	1,232,441	1,284,571	1,365,204	1,439,047	1,511,444	
	外 来	396,171	403,050	413,523	531,000	634,276	
	入 院	836,270	881,521	951,681	908,047	877,168	
治 験 処 方 枚 数		総 数	1,073	1,074	972	839	960
		外 来	952	982	908	777	881
		入 院	121	92	64	62	79
注 射	枚 数 (患者人数)	総 数	97,619	97,348	99,460	107,138	107,490
		外 来	25,593	25,777	27,630	33,023	34,841
		入 院	72,026	71,571	71,830	74,115	72,649
	剤 数	総 数	419,369	407,913	423,163	462,085	468,751
		外 来	77,368	80,091	89,333	108,569	116,479
		入 院	342,001	327,822	333,830	353,516	352,272
薬 剤 管 理 指 導 数		人 数	6,392	6,604	4,866	6,000	7,512
		算 定 件 数	8,257	8,397	6,390	8,247	10,128
*1 外来患者指導	常用薬調査	人 数	4,042	5,107	5,254	5,462	5,858
	窓口指導	件 数	316	228	219	192	206
*2 外来抗がん剤調製数	件数(患者数)	15,446	15,782	17,020	20,587	22,039	
	剤 数	26,846	26,419	28,639	34,146	35,801	
*3 外来抗がん剤調製数 (治験)	件数(患者数)	975	996	1,252	1,468	1,354	
	剤 数	1,276	1,199	1,517	1,841	1,717	
*4 入院抗がん剤調製数 (治験を含む)	件数(患者数)	8,258	8,893	8,894	9,394	8,736	
	剤 数	11,593	12,697	12,648	13,454	12,612	
麻 薬 処 方 せ ん 枚 数		7,846	8,032	8,875	8,058	7,729	
麻 薬 注 射 せ ん 枚 数		18,534	19,416	18,409	18,781	20,566	
T D M 実 施 件 数		163	142	135	262	243	
*5 病棟薬剤業務実施加算件数					20,812	24,287	

- \* 1 外来患者指導関連は、調剤科窓口で薬剤師が実施した分のみを計上
- \* 2 外来抗がん剤調製数は、薬剤師が調製した分のみを計上
- \* 3 外来抗がん剤調製数(治験)は、薬剤師が調製した分のみを計上(※1の外数)
- \* 4 入院抗がん剤調製数(治験を含む)は、薬剤師が調製した分のみを計上
- \* 5 病棟薬剤業務実施加算件数は、平成29年6月から実施した分を計上

## 院外処方せん交付状況

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
処 方 せ ん 総 枚 数	50,164	55,743	55,902	60,306	61,360
院 内 処 方 せ ん 枚 数 (外 来)	7,004	7,000	7,522	8,993	10,666
院 外 処 方 せ ん 枚 数	43,160	48,743	48,380	51,313	50,694
比 率 (院外処方せん枚数 処方せん総枚数) %	86.0	87.4	86.5	85.1	82.6

## 血液使用状況

### 1. 血液使用量

(単位：単位)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
自 己 血 液	434	216	124	68	32
全 血 液	0	0	0	0	0
赤 血 球 液	4,520	4,332	4,342	4,623	4,656
他の赤血球製剤	34	0	0	0	0
凍 結 血 漿	940	902	1,046	1,054	1,588
血 小 板	10,505	8,315	9,660	10,292	7,735
そ の 他	0	0	0	0	0

### 2. 検査件数

(単位：件)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
ク ロ ス マ ッ チ	2,722	2,488	2,343	2,542	2,531
血 液 型 ( A B O )	6,982	7,155	7,472	8,603	8,124
R H 因 子	6,982	7,155	7,472	8,603	8,124
間 接 ク ー ム ス 試 験	3,051	3,144	3,316	4,227	3,692
抗 体 ス ク リ ー ニ ン グ	6,332	6,518	7,059	8,581	8,101
直 接 ク ー ム ス 試 験	20	23	28	36	18

(注) 全血製剤は血液200mlを1単位、成分製剤は血液200mlに由来する成分を1単位とする。

他の赤血球製剤：解凍赤血球、洗浄赤血球等

## 治験等実施件数

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
治 験 (内 拡 大 治 験)	146	149	144 (1)	153 (4)	166 (2)
製 造 販 売 後 臨 床 試 験	9	9	13	12	18
製 販 後 使 用 成 績 調 査	37	51	53	53	52
そ の 他	2	0	1	1	0
合 計	194	209	211	219	236
( 新 規 依 頼 分 )	(61)	(59)	(54)	(52)	(56)
医 師 主 導 治 験	7	5	6	8	12

## 臨床研究件数

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
倫理審査委員会承認件数(新規)	115	123	193	194	176
倫理審査委員会承認件数(変更)	79	103	117	130	104
合 計	194	226	310	324	280

## 死体解剖数

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
死 亡 患 者 数	372	370	346	392	315
解 剖 数	2	5	7	4	2
解 剖 率 (%)	0.5	1.4	2.0	1.0	0.6

# 研究業務

愛知県がんセンターにおいては、がん患者の診断治療を行うのみならず、がんに関わる研究機関としての研究業務も主たる設置目的の一つに含まれており、病院部門における臨床医学的研究と研究所部門における基礎・社会医学的研究及びトランスレーショナル研究が相まって、当センターの総合がんセンターとしての機能を発揮している。その研究体制は、

- (1) 研究所における分野別研究
- (2) 病院における課題別研究
- (3) 重点プロジェクト研究

の3体制で実施されている。平成31年度における研究課題は、次のとおりである。

## 研究所における分野別研究課題

### がん情報・対策研究分野

- 1 がん登録情報を用いた記述疫学的手法によるがん対策・医療の評価
- 2 記述疫学研究に基づくがん情報の整備と発信

### がん予防研究分野

- 1 各種がんに対する分析疫学的解析による、がんリスクと繋がる遺伝的・環境的要因、並びにその組み合わせ効果の解明
- 2 上記結果に基づく個別化予防プログラムの開発

### 分子遺伝学分野

- 1 統合的ゲノム・エピゲノム・トランスクリプトーム解析による新規がん関連遺伝子の同定と機能解析
- 2 生殖細胞系列変異のがん発症に及ぼす影響の解明と発がんリスクフィードバック法の開発・評価

### がん病態生理学分野

- 1 がんの発症・悪性化における微小環境の役割の解明
- 2 転移の分子メカニズムの解明と予防・治療標的の探索
- 3 がん悪液質の病態生理解明と治療戦略の基盤構築

### 分子腫瘍学分野

- 1 悪性中皮腫の発がん機序の解明と細胞生物学的研究
- 2 細胞特性に基づくがんの新規診断法・治療法の開発研究

### システム解析学分野

- 1 統計的モデリングおよび深層学習を活用したがんゲノムデータ解析法の開発研究
- 2 臨床シーケンスへ向けたがん変異およびシステム変調情報の解釈・翻訳法の研究

### 腫瘍制御学分野

- 1 がんにおけるシグナル制御破綻機構の解明および治療戦略創出への応用
- 2 細胞間コミュニケーションを介したがん進展メカニズムの解明

### 腫瘍免疫応答研究分野

(選考中)

#### 腫瘍免疫制御トランスレーショナルリサーチ分野

- 1 がん免疫編集のメカニズムの解明
- 2 新生抗原(ネオアンチゲン)の同定と免疫応答の解析
- 3 ネオアンチゲンを標的としたがん免疫療法の開発

#### 分子診断トランスレーショナルリサーチ分野

- 1 がんの診断・治療個別化に有用な血液バイオマーカーの探索
- 2 網羅的分子プロファイリングによるがんの分子病態の解明と新規治療標的分子の探索

#### がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野

- 1 各種固形腫瘍に対する新規分子標的治療開発
- 2 承認済み分子標的薬における初期・獲得耐性機序の解明・克服

#### 個別化医療トランスレーショナルリサーチ分野

(選考中)

### 病院における課題別研究課題

- 1 がん治療におけるIVRの応用についての研究
- 2 治療感受性と再発リスクによる乳癌術後補助療法の選択に関する研究
- 3 臨床検査における各種癌診断手法の改善、開発
- 4 骨軟部肉腫進行例に対する治療法の研究
- 5 病理細胞診断における分子腫瘍診断法の研究
- 6 トモセラピーを用いた強度変調放射線治療の臨床応用

### 重点プロジェクト研究課題

#### がんゲノム予防医療プロジェクト

- 1 大規模病院疫学研究を基盤とした遺伝性腫瘍のリスク群における個別化予防を志向したエビデンス創出研究
- 2 大規模病院疫学研究をベースとした環境要因・遺伝要因を用いた散発性がんの個別化予防を志向したエビデンスの創出研究

#### がん超精密医療プロジェクト

- 1 分子標的治療薬に対する耐性機序解明に関わる基盤形成
- 2 難治癌PDXモデルのライブラリー整備とその多層的オミクス解析による統合データ基盤構築

#### がん免疫ゲノムプロジェクト

- 1 ネオアンチゲンを標的としたがんワクチン療法の開発

#### がん情報革命プロジェクト

- 1 愛知県のがん対策、医療評価と将来予測のための、生活習慣情報、社会経済的情報、医療情報の連結データベースの構築と活用

## 特許の状況

区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
発 明 件 数		5	5	1	1	2
出 願 件 数		3	4	2	1	0
登 録 件 数	年 度 当 初	32	25	29	31	27
	新 規	4	5	4	3	2
	権 利 消 滅	11	1	2	7	9
	年 度 末	25	29	31	27	20
実 施 許 諾 件 数	年 度 当 初	5	5	5	6	4
	新 規	0	0	1	0	0
	満 了 ・ 解 約	0	0	0	2	2
	年 度 末	5	5	6	4	2

(注) 出願件数には外国出願、国際(PCT)出願を含む。

## 研究所欧文原著論文発表研究

(単位：編)

26年	27年	28年	29年	30年
71	100	86	79	96

## 公的研究費獲得状況

(単位：千円)

		27年度	28年度	29年度	30年度
文部科学省(日本学術振興会)補助金	金 額	125,580	61,165	43,663	98,515
	件 数	17	13	21	23
文部科学省(日本学術振興会)助成金	金 額	59,150	52,429	50,174	42,919
	件 数	42	43	35	36
厚生労働省補助金	金 額	2,050	2,600	3,650	2,950
	件 数	6	8	7	7
AMED(日本医療研究開発機構)	金 額	127,901	120,160	114,565	128,211
	件 数	41	41	46	53
J S T(科学技術振興機構)	金 額	325	0	13,000	16,900
	件 数	1	0	1	1
国立がん研究センター研究開発費	金 額	11,350	10,750	7,950	10,250
	件 数	12	13	9	7
そ の 他	金 額	864	1,100	800	0
	件 数	1	1	1	0
計	金 額	327,220	248,204	233,802	299,745
	件 数	120	119	120	127

※年度途中退職者、前年度からの繰越金、外部機関への配分を除く)

【参考：研究所のみ】

(単位：千円)

		27年度	28年度	29年度	30年度
文部科学省(日本学術振興会)補助金	金 額	119,015	52,000	37,287	96,689
	件 数	13	9	16	19
文部科学省(日本学術振興会)助成金	金 額	42,705	28,470	29,081	29,769
	件 数	26	21	13	22
厚生労働省補助金	金 額	950	850	1,550	1,650
	件 数	3	3	3	4
AMED(日本医療研究開発機構)	金 額	66,620	59,650	66,606	75,041
	件 数	13	9	11	17
J S T(科学技術振興機構)	金 額	325	0	13,000	16,900
	件 数	1	0	1	1
国立がん研究センター研究開発費	金 額	3,800	4,300	3,400	3,400
	件 数	4	5	3	3
そ の 他	金 額	0	0	0	0
	件 数	0	0	0	0
計	金 額	233,415	145,270	150,924	223,449
	件 数	60	47	47	66

※年度途中退職者、前年度からの繰越金、外部機関への配分を除く)

# 類似病院との比較

項 目	愛知県	順 位	埼玉県	千葉県	静岡県	兵庫県	宮城県	神奈川県	
	がんセンター		がんセンター	がんセンター	がんセンター	がんセンター (独立行政法人)	がんセンター (独立行政法人)		
事業開始年月	S39.12.1		S50.11.1	S47.11.1	H14.6.24	S59.5.22	S42.4.1	S38.4.15	
病床数	500	3	503	341	615	400	383	415	
※ 稼働状況	病床利用率 (%)	77.3	3	73.6	72.6	89.1	72.5	73.0	82.9
	平均在院日数 (日)	12.3	3	13.9	13.6	12.1	12.6	17.3	11.4
	1日平均外来患者数 (人)	590	5	825	531	1,189	624	351	985
※ 収益状況	入院患者1人1日当たり診療収入 (円)	61,054	6	63,921	61,744	66,443	65,481	52,933	73,000
	外来患者1人1日当たり診療収入 (円)	54,884	1	35,983	37,199	41,888	48,108	40,732	33,136
※ 繰入金の状況	1病床当たり一般会計繰入金額 (千円)	6,688	5	5,493	8,698	10,736	2,417	5,949	5,440
	一般会計繰入金対経常収益 (%)	15.8	4	13.7	20.9	19.4	6.0	19.9	11.0
※ 経営状況	経常収支比率 (%)	103.7	1	95.1	99.0	99.9	101.7	100.6	91.8
	医業収支比率 (%)	94.3	3	83.1	80.4	85.7	96.9	100.6	92.1
	修正医業収支比率 (%)	88.9	2	82.8	77.4	85.3	96.9	81.3	82.6
	職員給与費対医業収益 (%)	38.8	3	47.9	59.9	38.5	42.6	42.5	36.8
	病床1床当たり実質損益 (千円)	△ 5,190	2	△ 7,442	△ 9,120	△ 10,893	△ 1,737	△ 5,792	△ 9,832
	病床1床当たり純利益 (△) 純損失 (千円)	1,498	1	△ 1,949	△ 422	△ 157	680	158	△ 4,392
	病床1床当たり概算キャッシュフロー発生額 (千円)	4,425	2	2,284	1,712	5,773	2,342	2,768	1,814

注1 数値は「平成29年度地方公営企業決算の状況」の報告値を愛知県が独自に集計・分析したものから転記。

注2 「繰入金の状況」、「経営状況」は、研究所に係る数値を含む。

注3 指標の算式は次による。

・修正医業収支比率：(医業収益－医業収益中の他会計繰入金) / 医業費用 × 100

・病床1床当たり実質損益：(純利益・(△) 純損失－他会計繰入金) / 許可病床数

・病床1床当たり概算キャッシュフロー：(純利益・(△) 純損失 + 減価償却費 + 資産減耗費 + 繰延勘定償却) / 許可病床数

注4 左枠外に※印のある項目は、数値が小さい順となっている。

注5 分析の詳細は、愛知県病院事業庁のホームページの「事業報告」をご参照下さい。

## 外来診療案内

(平成31年4月1日現在)

- ◆ 受付時間 午前8時30分から午前11時30分まで
- ◆ 診療日 (土曜・日曜・祝日・年末年始は休診)

診 療 科	診 療 内 容	診 察 日	
消 化 器 内 科	消 化 器 疾 患	月～金	
呼 吸 器 内 科	呼 吸 器 疾 患	月～金	
循 環 器 科	循 環 器 疾 患	月・木	
血 液・細胞療法科	造 血 器 ・ そ の 他	月～金	
薬 物 療 法 科	固形腫瘍・肉腫・その他	月～金	
頭 頸 部 外 科	口 腔 ・ 耳 鼻 咽 喉 ・ 甲 状 腺	月～金	
形 成 外 科	形 態 治 療 ・ 機 能 再 建	月～木	
呼 吸 器 外 科	肺 ・ 縦 隔 疾 患	月～金	
乳 腺 科	乳 腺 疾 患	月～金	
消 化 器 外 科	消 化 器 系 統 ・ 食 道 疾 患	月～金	
整 形 外 科	整 形 外 科 疾 患	月・火・水・金	
脳 神 経 外 科	脳 神 経 疾 患	月～金	
泌 尿 器 科	泌 尿 器 疾 患	月・水・金	
婦 人 科	婦 人 科 疾 患	月～金	
皮 膚 科	皮 膚 疾 患	月～木	
眼 科	眼 科 疾 患	火(午前)・金(午後)	
放射線診断・IVR科	放射線診断・IVR・肝腫瘍	月～金	
放 射 線 治 療 科	放 射 線 治 療 ・ そ の 他	月～金	
精 神 腫 瘍 科	病態に応じた症状緩和・治療	月～金	
緩和ケア科	緩 和 ケ ア	病態に応じた症状緩和・治療	火・木
	ペインクリニック	病態に応じた症状緩和・治療	水
	リンパ浮腫	病態に応じた症状緩和・治療	火・木
リスク評価センター	遺 伝 カ ウ ン セ リ ン グ ・ 遺 伝 学 的 検 査 の 提 供	月～金	

- ※1 精神腫瘍科は、予約のみの対応です。
- ※2 リスク評価センターは、完全予約制・自由診療です。
- ※3 セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています。(完全予約制・自由診療)

## 入 院 案 内

(平成31年4月1日現在)

### ◆ 入院の申込み

- 1 入院希望の方は、すべて外来患者として診察を受け、医師の指示により入院の申込みをしてください。
- 2 入院の申込みは、本人又は代理人の方が身元の確実な保証人及び連帯保証人を引受人としてお選びになり、所定の様式「入院申込書」「身元引受書」に記入して病棟1階入退院受付へ提出してください。
- 3 特別室(個室)に入院希望の方は、その旨を係員に申し出てください。  
 なお、特別室(個室)を利用される方は、下表のとおり室料が必要となります。

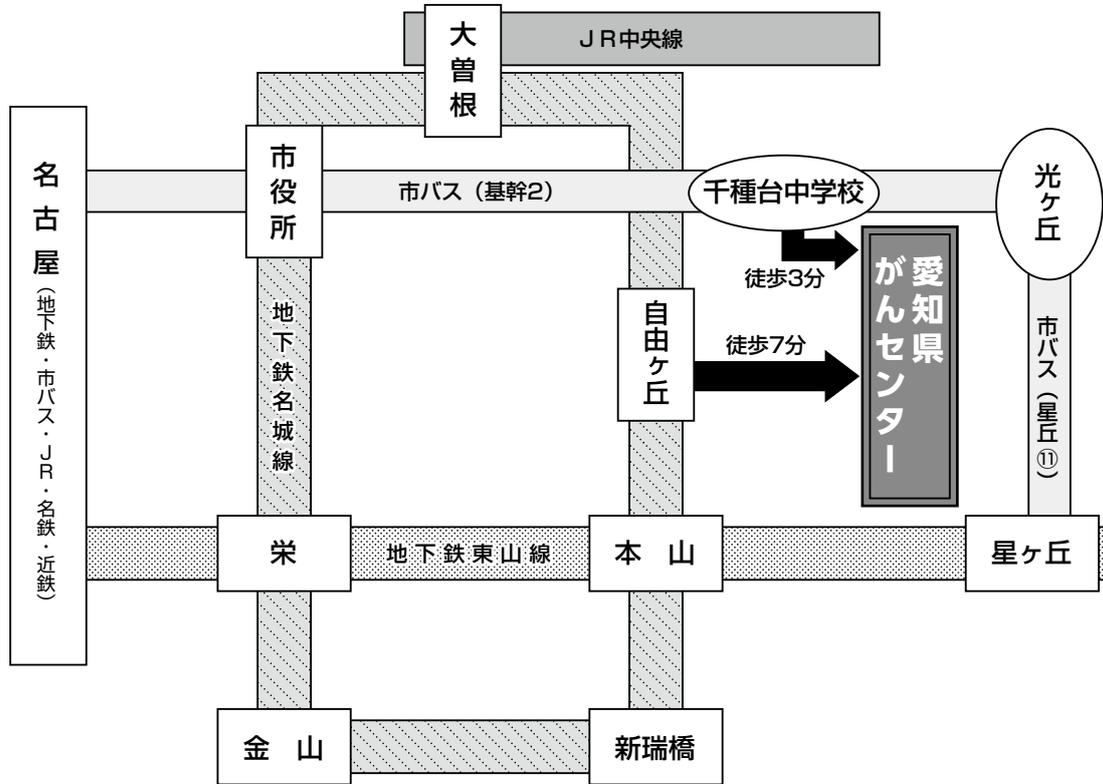
区 分	A室	B室	C室	D室
室 料 (1日につき)	32,400円	17,280円	12,420円	7,200円

(税込)

### ◆ 面 会

- 1 面会は、療養上の都合により次の時間内をお願いします。ただし、病状その他の理由により面会できない場合があります。  
 月曜日～金曜日 午後2時から午後8時まで  
 土、日曜・祝日 午前10時から午後8時まで
- 2 面会の方は、次の事項をお守りください。
  - (1) 面会の取次ぎは、看護師にお申出ください。
  - (2) 面会は、他の患者さんに迷惑のかからないようデールーム(面会室)をご利用ください。
  - (3) 病室内での飲食はご遠慮ください。
  - (4) 敷地内は全面禁煙になっています。
  - (5) 小さいお子様をお連れになった場合は、他の患者さんの迷惑にならないようお願いします。

# 交通案内



## 地下鉄利用 「自由ヶ丘」2番出口から徒歩7分

- 名古屋・栄から【所要時間：名古屋から約30分】  
東山線「藤が丘」行き乗車、「本山」乗り換え、名城線「左回り」に乗車、「自由ヶ丘」下車
- 大曽根・栄から【所要時間：大曽根から約20分】  
名城線「右回り」行き乗車、「自由ヶ丘」下車
- 金山から 【所要時間：金山から約35分】  
名城線に乗車、「自由ヶ丘」下車

## 市バス利用 「千種台中学校」から徒歩3分

- 名古屋駅から【所要時間：名古屋駅から約40分】  
基幹2系統「光ヶ丘」または「猪高車庫」行き乗車、「千種台中学校」下車
- 星ヶ丘から 【所要時間：星ヶ丘から約20分】  
星ヶ丘①系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、「千種台中学校」下車

## 自家用車利用 本山交差点から北へ約7分、平和公園の北西

- 東名高速道「名古屋IC」から西へ約15分  
名古屋ICより、名古屋長久手線(60号線)を西(星ヶ丘方面)へ2,600m進み、「打越」交差点を右折、1,600m先の「猪高車庫前」交差点を左折、1,000m先の「希望ヶ丘4」交差点を左折、300m先の左側
- 名古屋高速道「四谷出口」から北へ約10分  
四谷出口より800m先の「四谷通3」交差点を左折、北へ1,500m進み「猫洞通2」交差点を左折、1,300m先の「自由ヶ丘3」交差点を右折、400m先の右側

建物及び医療機器の一部について、年金積立金還元融資により整備しています。

愛知県がんセンター概要  
平成31(2019)年度  
令和元年5月発行

発行所 愛知県がんセンター  
名古屋市千種区鹿子殿1番1号  
電話 052-762-6111 (〒464-8681)  
Home Page: <https://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

印刷 藤成印刷株式会社  
名古屋市昭和区塩付通6丁目7-2番 (〒466-0022)  
電話 052-841-0588 FAX 052-841-0664



愛知県がんセンター  
Aichi Cancer Center